



心♪を合わせ、役割をしっかりと担って 子どもたちが育つより良い環境づくり!!

～玉川学園オーケストラ部による演奏会から感じたこと～

去る 8 月 22 日・23 日の両日、縁あって玉川学園(東京都町田市)オーケストラ部の皆さんが羅臼町を訪れました。

22 日は公民館大ホールで一般の方を対象に公演していただき、23 日は春松小学校と羅臼小学校でそれぞれ児童・生徒を対象に素晴らしい演奏を披露していただきました。



春松小学校での公演の様子

コントラバス、チェロ、ヴィオラ、バイオリン(第1バイオリン・第2バイオリン)の奏者が、それぞれのパート(役割)を担当し、調和のとれた美しいハーモニーを奏でる。パートごとに違う楽譜だけど、しっかりと自分のパートを弾きこなし、リズムを合わせて一緒に奏でることで、心に響く素晴らしい演奏となります。今回、羅臼での公演ということで、それぞれの学校の「♪校歌」や「♪知床旅情」も演奏してくださいました。

演奏を聴いていて、「子どもたちが育つ環境も、今回の演奏と同じように、各パート(＝地域、家庭、学校、各機関)が、心を合わせてそれぞれの役割をしっかりと果たし協力することで、より良い環境ができるのだろうなあ。」と感じました。

玉川学園オーケストラ部の皆さん、素晴らしい演奏をありがとうございました。



路上(歩道)駐車、子どもの帰宅時間・・・

地域で声かけあって!!

町教委では毎月、校長会議、教頭会議、園長主任会議をそれぞれ開催し、教育現場の状況確認や情報交換を行い、学校・幼稚園との連携に努めていますが、夏休み前に開催した教頭会議において、次のようなことが話題となりました。

そのひとつは、児童・生徒の通学路にあたる路上や歩道上に車が駐車され、子どもたちにとって危険な状況が見受けられること。もうひとつは、子どもたちの帰宅時間の問題でした。

路上(歩道上)駐車については、特に市街地においてその状況が多く見受けられます。市街地は道幅も狭く、交通量も多いことから、子どもたちが交通事故等に遭う危険性が高くなります。町の財産である“子どもたちの安全を確保”するため、路上や歩道上に駐車はしないようご理解とご協力をお願いします。

また、子どもの帰宅時間の問題ですが、かつては夕方になると近所のおじさんやおばさんが、自分の子であろうとなかろうと「そろそろ晩ご飯の時間だから帰いなさー。」と諭してくれたものでしたが、最近はどうでしょう？ 夕食時間帯になっても外で遊んでいる子どもや学校で決められている帰宅時間を過ぎても外を徘徊している子など、少し気になるケースが見受けられるようです。地域で気をつけて子どもたちへの声かけをしていただければと思います。

クラスが鳴くから
か～えろ～!



子育て現役パパ・ママに “プロ”はいない!?

私たちは、子を授かって初めて親になります。とうことは、親業も子を持った時から始まるということで、新米パパ・ママのはじまりはじまり・・・となるわけです。一人の子どもを一人前の大人に育て上げるまでには、親もいろんな経験を積むこととなりますし、また、子どもの性格や能力は一人一人違うことから、2人目、3人目の子育てにおいても、新しい体験や新しい発見(気づき)がたくさんあると思われます。つまり、子育て真っ最中のパパ・ママに“プロはいない”・・・ということです。

しかし、親になった途端、親として一人前になった錯覚に陥る方もいるようで、「最初から全てわかってる。」「全て完璧にできる(完璧にできなければならない。)」と思い込んでしまう・・・ような方も……。あなたは大丈夫ですか？

親は、子どもの成長過程において様々な局面にぶつかり、悩み、もがき、苦しみ、その時々を「愛」をもって乗り越えながら、子どもと共に成長して行くものではないでしょうか。



だからこそ、親としての「学び」が必要であり、子どもの健やかな成長を真に願うのであれば、パパ・ママとして必要な考え方や知識・知恵、技術、能力、etc…を身に付けることが、とても重要だと思うのです。

今号から、「子どもの発達段階ごとの特徴と重視すべき課題」について、段階を追って掲載していきますので、保護者の方は勿論、家族やおじいちゃんおばあちゃんにも是非、読んでいただき、子育て・子育てを支援していただければと思います。

(その1) 乳幼児期 ～ ～ ～ ～ ～

乳児は、外界への急激な環境の変化に対応し、著しい心身の発達とともに、生活リズムの形成を始めます。特に、視覚、聴覚、臭覚などの感覚は鋭敏で、泣く、笑うなどの表情の変化や、からだの動き、「あ～う～」 「ばぶばぶ」といった、まだ言葉にならない段階の声により、自分の欲求を表現します。



また、保護者など特定の大人との継続的な関わりにおいて、愛されること、大切にされることで、情緒的な絆(愛着)が深まり情緒が安定し、人への信頼感を育んでいきます。特に、スキンシップは大きな役割を果たすと言われています。乳児は、この基本的な信頼感を心のよりどころとし、徐々に身近な人に働きかけ、歩行の開始などと共に行動範囲を広げていきます。

そして、幼児期になるにつれ、身近な人や周囲の物、自然などの環境とかかわりを深め、興味・関心の対象を広げ、認識力や社会性を発達させていくとともに、食事や排せつ、睡眠といった基本的な生活習慣を獲得していきます。また、子ども同士での遊びを通じて、豊かな想像力を育むとともに、自らと違う他者の存在や視点に気づき、相手の気持ちになって考えたり、時には葛藤(かつとう)を覚えたりする中で、自分の感情や意志を表現しながら、協同的な学びを通じ、十分な自己の発揮と他者を受け入れる経験をし、こうした体験を通じ、道徳性や社会性の基盤が育まれていくことになります。



(…裏面につづく…)

現代における乳幼児期の子育てを取り巻く状況については、例えば、少子化や都市化の影響から、家庭や地域において、子どもが人や自然と直接的に触れ合う経験が少なくなったり、この時期の子どもにふさわしい生活のリズムが獲得されにくいことなど、様々な課題が指摘されています。さらには、家族や地域社会の在り方が変化(核家族化、地域連帯感の希薄化)する中で、不安や悩みを抱える保護者も増加していること、また、保護者の過干渉や・養育放棄・児童虐待の増加なども指摘されています。

これらを踏まえて、乳幼児期における子どもの発達において重視すべき課題として、以下のことがあげられています。

- ①愛着の形成
- ②人に対する基本的信頼感の獲得
- ③基本的な生活習慣
- ④十分な自己発揮と他者の受容による自己肯定感の獲得
- ⑤道徳性や社会性の芽生えとなる遊びなどを通じた子ども同士の体験活動の充実



町では、これらの課題解決の一助(支援)として、子育て支援センター「ありんこ」を開設し、保護者同士の交流・情報交換や子ども同士の触れ合い(遊び)の場と機会を提供しています。

また、町の保健師や栄養士・図書司書が連携し、プレマスクールやプレマスクール同窓会を開催し、子育てママ・パパへの支援・アドバイスも行っています。どうぞ、お気軽ご相談・ご利用ください。



子育て支援センター (八木浜町／TEL88-1515)

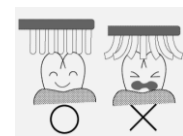
町保健福祉課保健係 (役場内／TEL87-2161)



噛むためには「歯」が命！ だから、歯のケアってとても大切なんですよ。

歯のお手入れと言えば、歯磨きです。皆さんは、歯ブラシを普段からチェックしているでしょうか？

歯ブラシは、毛先が歯や歯茎にあたることで、汚れを落とす効果を最大限に発揮します。だから歯ブラシは、常に毛先がまっすぐ当たるような状態であることがベスト。少しでもブラシの毛先が開くと、汚れが落とせなくなってしまいますので、交換しましょう。



また、力(ちから)の入れ加減も重要です。常に毛先が当たるような軽いタッチで磨くのもコツです。力強く磨くと、歯ブラシの毛先が開いたのと同じ状態になってしまうので、汚れがきれいに落とせなくなってしまいます。毛先が当たっているかどうか、鏡で口の中を見てチェックしながら磨くと、とてもきれいになりますよ！

歯ブラシの交換の目安はもう一つ。毛先が開かなくても、使い始めてから1カ月経過したものは、ブラシが劣化してコシが無くなり、毛先が当たらなくなってしまうので、これも交換が必要です。正しい使い方をしていても、「汚れが落ちにくくなったなあ…」と感じたら、買い替え時です。

さらに、お口のお手入れは、実は歯磨きだけではないんです。食べ方を変えるのも手段の一つ。いつも口腔内が汚れるような食べ方では、せっかくきれいに歯磨きしていても、歯磨きの努力を台無しにしてしまいます。飴やガム、缶コーヒー、ジュース、お菓子などなど…、“ちょこちょこ食べ”をしませんか!? 1回の食べる量は少なくても、口の汚れは変わりません。食事でもおやつでも、空腹感を感じることでできるような食べ方が、歯にとっても、カラダにとってもよい食べ方です。

最近、お腹が「グ～」となる経験をしていますか？ 実は、お腹が鳴っている最中って、体脂肪が燃えているサインでもあるんですよ。…(^x^)

羅臼町は、全国的に見て子どもたちの虫歯が多い状況であることから、今年から幼稚園・小学校(2学期から)においてフッ化物洗口(うがい)の取り組みを行っていますが、子どもたちの歯磨きの習慣化は、家庭での取り組み(親がその姿を見せること)が重要です。良いお手本となってあげてください。

町内各学校の「ブログ」見たことがありますか？…

児童・生徒をお持ちの保護者の方は既にご存じかと思いますが、各学校ではインターネット上にブログ(日記形式のウェブサイト)を開設して活動の様子などを紹介しています。目にしたことのない方のために、最近のニュースを本紙面で紹介させていただきます。

羅臼中学校のブログより

吹奏楽部「銀賞」受賞

28日(土)に行われた釧根地区吹奏楽部コンクールで見事に昨年度を上回る銀賞を受賞しました。

当日の演奏は今までの中で一番素晴らしく、生徒達の努力がしっかりと大きな舞台で発揮され嬉しく思います。部員全員が中学校に入ってから楽器を始め、特に1年生は半年にも満たない中でこのコンクールに参加しました。



これから、漁火祭りと定期演奏会が控えています。それに向けてもきっとたくさん練習し、聞く人を感動させる音楽を作り上げてくれる事と思います。

写真のみんなは素敵な笑顔です。

やりきった気持ちが表情に出ています。本当におめでとう！

春松中学校のブログより

中2 職業体験スタート

今日(8月31日)は中2の「職業体験」です。中学生の段階で町内の各事業所の協力を得て実際の職場で働く体験をし、将来の自分の職業選択の意識を高める事が目的です。

今年度は羅臼町内を中心に、次の8つの事業所で本校の生徒を受け入れて頂きました。各事業所にとっては、中学生を預かるのは様々な安全面や指導等で煩わしい事も多いと思います。中学生の将来の為に協力頂き大変感謝申し上げます。

体験場所	人数
春松小学校	4名
春松幼稚園	2名
セブン-イレブンあしざき	2名
羅臼消防署	1名
知床財団	1名
ドックサロン M&CO	2名
ネイチャークルーズ	3名
滝本菓子店(標津町)	2名



ドックサロン M&CO での職場体験の様子

※このような地域の支援が、子どもたちを育てるんですね。